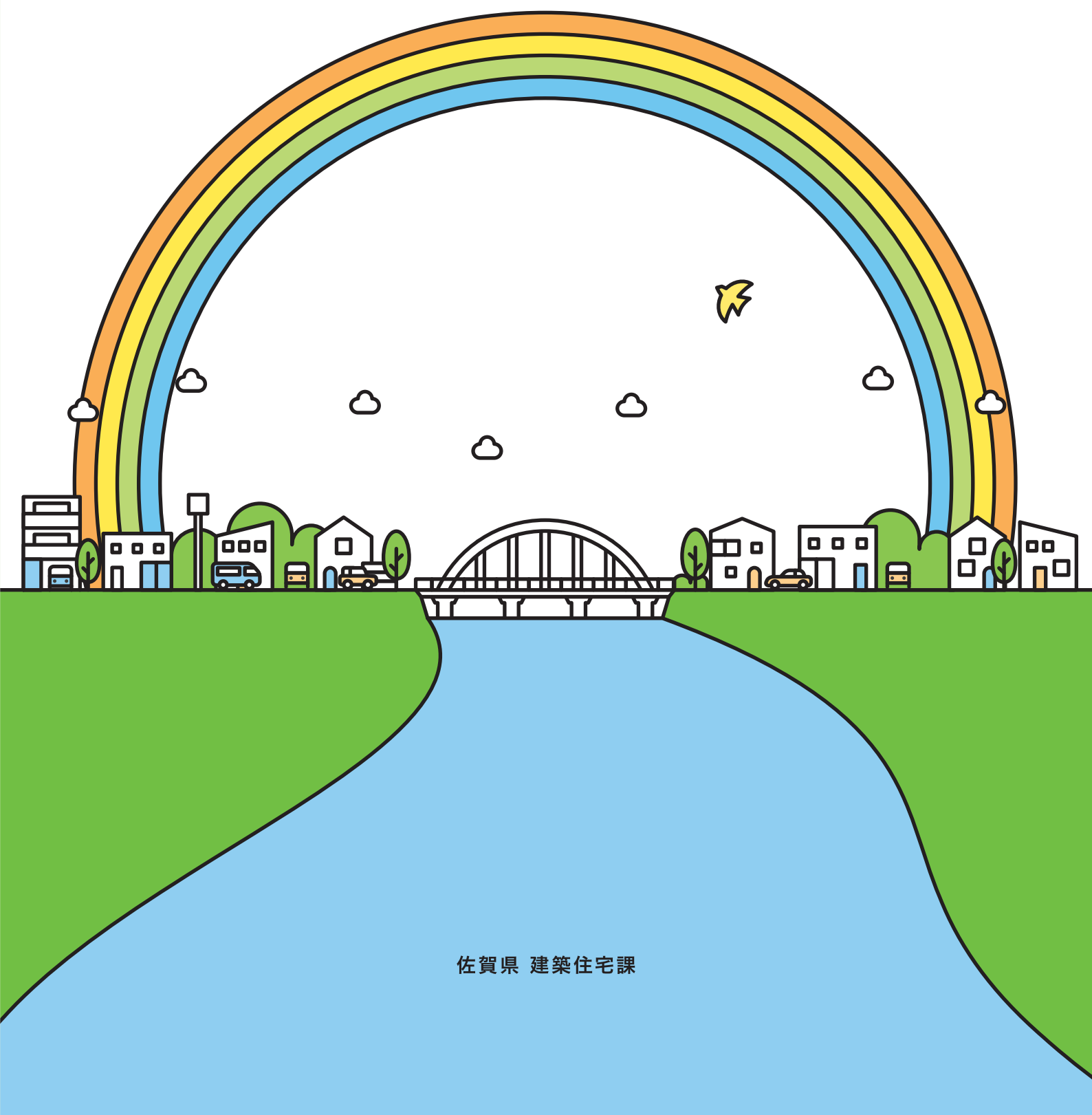


浸水に備えた住まいづくり



はじめに



令和3年九州北部豪雨で浸水した家屋（撮影：武雄市）

佐賀県では、近年豪雨災害が頻発しており、その度に多くの住宅が浸水被害を受けています。

自宅をリフォームする際や家を建てる際などに、浸水に備えた対策を取り入れることで、被害を少しでも軽減でき、復旧が比較的容易になる場合があります。

ここでは、浸水の程度に応じた対策のほか、省エネや内装のリフォームなどと併せてできる対策もまとめているので、参考にしてください。

※家を新築される方、中古住宅を購入される方へ

住宅の浸水被害にあわないためには、まずは、浸水する可能性ができるだけ少ない土地の住宅を選ぶことが大切です。ハザードマップで浸水想定を確認してください。

目次

1 自宅や建設地の浸水想定深さを知る…… P1

2 浸水に有効な対策…………… P3

3 工事をしなくてもできる対策…………… P18

4 役立つ情報…………… P20

対象とする住宅

- 戸建て住宅を対象としています。
- 地下階のある住宅には対応していません。

対象とする災害

- 洪水、内水氾濫*を対象としています。
- 住宅に強い力が加わる津波や土砂災害、洪水のうち家屋の流出や倒壊をもたらすような氾濫流を伴うものは対象としていません。

*内水氾濫:雨水が排水施設で川に排水できずに、宅地などにあふれること

